

# 第9回 日本プラグフェスト開催報告

—プラグフェスト実行委員会—



会場風景および懇親会のシーン▶



第9回日本プラグフェストを開催いたしましたので報告いたします。

日本プラグフェストは、インターフェース規格を使用するメーカー同士が、相互運用性を検証するための技術イベントです。今回は、高画質の映像にHDR(High Dynamic Range)技術を搭載した最新鋭の機器が数多く参加しました。更にコンテンツプロテクションにおいては、暗号化認証するための HDCP2.2に対応した接続を行うことにより次世代の高画質映像のユースケースを想定したハイレベルな接続検証を実施することができました。

今回は初の試みとして、JASA会員向けのプラグフェスト見学ツアー及び、オープンセミナー「日本プラグフェストについて」を開催、今回は京都ということもあり、近畿支部を中心に約20名のJASA会員が参加し、最新鋭の機器を間近に触れると共に、セミナーでは今後の展開など様々な意見の飛び交う活気溢れるものとなりました。懇親会では関西では馴染みの少ないプラグフェスト参加者とも親睦を深めることができ、JASA会員にとっても貴重な時間とすることができました。

## ■会期・場所

会期:平成28年6月1日(水)~2日(木)  
場所:京都テルサ

(京都府民総合交流プラザ)

主催:一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)

## ■目的・特徴

同一インターフェース規格(HDMI)を持つ製品間の相互運用性を検証し、確実なものとする事で、不具合解消や品質の向

上を目的としています。

参加メーカーは、ソース機器(1)、シンク機器(2)、リピータ機器(3)に分かれ、自社製品と他社製品との接続を行い、通信・映像・音声・暗号化検証において規格に準拠した通りの挙動となっているか、安定的な接続がなされているか等、細かく検証します。また日本プラグフェスト独自の試験項目を策定し実施することで、参加メーカー全体の品質向上を促しています。

## ■参加メーカー・機種

- 参加メーカー/18社 56名
- 参加機種/シンク機器:12機種(TV、プロジェクトタ等)、ソース機器:15機種(BDレコーダ、ゲーム機、デジタルカメラ等)、リピータ機器:12機種(AVアンプ、AVレシーバ等)、測定器:3チーム(オシロスコープ、ネットワークアナライザ等)、ケーブル:3機種(ケーブル)

## ■試験方法

### 個別試験

- 各チーム1対1の試験
- 1スロット60分

### システム試験

- ソース・リピータ・ソース・ケーブルの複数チームと接続する試験
- 日本プラグフェスト独自の試験を用い、一般家庭での複雑な機器の組み合わせを再現

## ■参加者からのご意見・ご要望

・このような機会に参加させて頂くことは市場トラブルを未然に防ぐことができるため、とても良いテストだと感じています。  
・こうした色々なメーカーの方との交流の場は少ないので、とてもよい機会になりました。ありがとうございます。  
以上のような声をはじめ、多数の貴重なご意見をいただきました。お寄せいただいた、試験方法、場所、試験時間等に関するご要望につきましては、今後も可能な限り対応します。

## ■次回の予定

- ◎日時:2016年12月1日(木)~2日(金)
  - ◎場所:独立行政法人 東京都立産業技術研究センター
  - ◎テスト規格:HDMI
  - ◎参加資格:HDMI搭載機器メーカーおよび、ケーブルメーカー
  - ◎参加料金:1名 21,600円(税込)
- 詳細につきましては、日本プラグフェストHP (<http://www.jasa.or.jp/TOP/plugfest/top/>)にてお知らせいたします。

- (1)デジタルコンテンツを出力する機器(BDレコーダ、デジタルカメラ等)
- (2)デジタルコンテンツを受信し表示する機器(TV、プロジェクトタ等)
- (3)ソース機器とシンク機器間で、信号の再送信等を行う中継機(AVアンプ等)

システム試験のテスト項目はいかがでしたか?



テスト時間は適切でしたか?

